

ふきのふん①

名前

「ふきのふん」を よ読んで かんがえましょ。う。

① ふん な、ふんじょうじんじんじんが 出ましますか。

竹
の

竹

日



② とんじょうじんじんじんや ぶかいふん くらん 思い
たごとき かきましょ。う。

ふきのとう②

名前

十五〜十六ページでとうじょうじんぶつが言ったことばをせんでむすび、読み方をうしろの 中からえらんでみよう。わがじいさんへきいてて音読しよう。

とうじょうじんぶつ

竹のぼうし

ふきのとう

「さむかったね。」

「うん、さむかった

ね。」

「よいしょ、よいしょ。」

おもたいな。」

「よいしょ、よいしょ。」

そとが見たいな。」

ア

ア ささやいて イ 小さく ウ 大きく

エ ふんばるようじ

オ むっへり カ はやく

ふりかえり

くふうして 読めましたか。

よくできた

できた

がんばった



ふきのとう③

名前

十六〜十八ページを読んで、とうじょうじんぶつが言ったことばを、せんで、むすび、読み方をうしろの□から中からえらんで、みよう。さいふくくくつして、音読しよう。

とうじょうじんぶつ

雪

竹やぶ

「ごめんね。」

「わたしも早くとけて水になり、とおくへ行ってあそびたいけど。」

「竹やぶのかげになって、お日さまがあたらない。」

「すまない。」

「わたしたちも、ゆれておどりたい。ゆれておどれば、雪に日があたる。」

「でも、はるかぜがまだこない。はるかぜがこないとおどれない。」

ア さんねんそうに イ 小さく

ウ 大きく

エ ゆっくり オ はやく

ふりかえり

くふうして 読めましたか。

よくできた

できた

がんばった



ふきのとう④

名前

十九〜二十ページを読んで、とうじょうじんぶつが言ったことばを、せんで、むすび、読み方をうしろの 中からえらんで、みよう。さいまに、 音読しよう。

とうじょうじんぶつ

お日さま

はるかぜ

「おや、はるかぜが、ねぼつしているな。竹やぶも、言も、ふきのとうも、みんな、まっまっているな。」
「おつい、はるかぜ。おきなのみ。」

「や、お日さま。や、みんな。おまぢいお。」

ア 明るく ① 元気に ㊦ 大きく

エ 小さく

オ はやく ㊧ へい

ふりかえり

くふうして、読めましたか。

よくできた

できた

がんばった



ふきのとうの音

くふうして音読しよう。

①「る」「て」の文字の
ところは、つよく リズムよく
読んでみましょう。

②「んにちは」「は、ふきのとうの
ことばです。

大きく、うれしそうに
読んでみましょう。

③「すっかり はるです。「は、
とうじょうじんが みんな
はるになって うれしい 気も
ちが、わかるように、元気に 読
んでみましょう。

ふりかえり
くふうして 読めましたか。

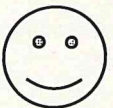
よくできた



できた



がんばった



「んにちは」
もう、すっかり はるです。

ふきのとうが、かおを 出しました。

—— もっり。

とけて、ふんばって、

ゆれて、

ふかれて、

ふきのとうが、ふんばる、
せがのびる。

雪が、とける とける、水になる。

竹やぶが、ゆれる ゆれる、おどる。

はるかぜに ふかれて、